

平成30年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>【地域の安心・安全の確保】</p> <p>災害から府民を守るとともに、多様な世代が安心して暮らせる丹後の実現に取り組みます。</p>	<p>① 一日でも早く平成29年台風災害からの復旧・復興を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年台風災害の復旧について、早急な実施 （府公共土木災害194箇所、H29箇所決定額約22億） （林地被害復旧（治山事業）2箇所 約1.25億） ・ 被災が甚大な吉野川については、災害関連事業により抜本的な改修を行うこととし、事業を進捗 <p>② 地域の実情に応じた防災・減災対策を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風、地震、津波等の災害から府民を守るため、各市町等と連携し、丹後地域特有の実情を踏まえた防災訓練等を実施し、災害に強い地域づくりを支援 ・ 市町と連携し、地域の防災リーダー等に対する講習会を開催するなど、自主防災活動強化への支援 ・ 豪雨災害が頻発する現状を踏まえ、河川整備や土砂災害対策等安心・安全のまちづくりを推進するほか、森林整備や治山事業など総合的な森林の適正管理により、災害に強い森林づくりを推進 （河川11箇所、砂防5箇所、急傾斜6箇所、森林整備（間伐等）61ha、治山事業10箇所） ・ 雨量計（伊根町域）の新設を行うとともに、危機管理型水位計の設置、浸水想定区域図作成を進め、洪水時の円滑かつ迅速な避難を支援 <p>③ 地域を支える福祉人材の育成・定着を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材不足・スキル不足に起因する虐待を未然に防ぐために、支援スキルの向上や虐待防止に関する知識を習得するための体制整備、人材育成・定着 ・ 授産製品のブラッシュアップを更に進めつつ、専門家等と連携した新たな販路開拓に取り組み福祉サービス事業所の工賃アップを支援 <p>④ 事業所の健康づくり事業への支援を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の健康づくりの取組を伴走型で支援し、働き盛り世代の健康づくりの拡大・定着を推進 ・ 府内でがんによる死亡率が最も高い地域である丹後地域の状況を踏まえ、がん検診の啓発等がん対策の取組を推進

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>⑤ 地域全体で子育てを支える仕組みづくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産婦検診後の要支援者の受け皿となる産後ケア事業実施医療機関を拡大し、産後うつ^①の早期発見、早期支援を推進 ・ 民間団体が持つ当事者目線での子育てノウハウの活用に向けた市町への支援 ・ 病児・病後児保育施設の拡大に取り組む市町を支援
2	<p>【交流人口の拡大と地域産業の活性化】</p> <p>海の京都 DMO と連携し、食の魅力づくりを進めるとともに、観光コンテンツの発掘とブラッシュアップを図り、観光消費額の拡大を図ります</p>	<p>① 丹後の食の魅力づくり、ブランディングの確立を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「丹後グルメ月間（9～10月）」や「道-1 グランプリ」の開催。四季を通じた旬の食材を提供する「旬の食材提供店」の発掘・発信を行うなど、地域一体となって丹後の食の魅力を創出 ・ 丹後の農産物や丹後ばらずし等の加工製品の販促活動を都市圏の量販店で積極的に展開するとともに、「フルーツ」や「地酒」を活用した新たなメニューを都市圏・地元の飲食店で展開 ・ 丹後産コシヒカリの「特A」の奪還（^②A 評価） ・ 実需者である食関連企業ニーズに対応した丹後国営開発農地の営農確立のための技術支援、加工業者との連携支援及び意見交換の実施 <p>② 「海の京都」の新たな魅力発掘・発信を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中丹・丹後・但馬」3地域の関係機関と鉄道事業者が連携し、広域周遊観光を促進するため、城崎から天橋立までの直通列車「城崎・天橋立ダイレクト」を運行 ・ 「TANTAN ロングライド」で培った成果をさらに発展させるため、丹後サイクル・リビングラボの展開に向けた協定の締結及びキックオフイベントを開催 ・ 交流人口拡大に向けて（仮称）大宮峰山 IC から幹線道路（国道482号線）に接続するためのアクセス道路の整備促進

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
	<p>丹後織物工業組合等の関係団体と連携し、ちりめん産業等の地域産業の振興を図ります</p>	<p>③ 「丹後ちりめん創業 300 年事業」等を契機とした地場産業の振興を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後織物工業組合や各市町と連携し、日本人クリエイターと連携した海外発信や首都圏における産地単独産地商談会の開催、国内外学生とのコラボ商品開発など地域産業振興事業を展開 <p>④ 地域産業を支える人材を確保するため、丹後ものづくり企業力の強化を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後地域の産業の今後を見据え、人材確保に熱意を持って取り組む企業の採用力を高めるためのセミナーの実施 ・ 丹後企業の魅力を売り込むため、複数企業がチームを組んでの大学訪問の実施
3	<p>【明日の丹後を進める土台づくり】</p> <p>未来の丹後を担う人材の育成・確保と地域文化、自然環境の保全と発信を図ります</p>	<p>① 明日を担う「丹後の人」を育成します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高校生が地域の自然や歴史、産業の魅力を学ぶことにより丹後への愛着心を醸成（「TANGO 魅力伝え隊」実施学校数 5校） ・ 市町や関係機関と連携し「丹後移住・定住推進会議（チーム丹後）」による都市部での移住フェアや交流事業に取り組み、丹後への移住を促進 <p>② 山陰海岸ジオパークエリアの府县市町と連携し、ユネスコ世界ジオパークネットワーク（GGN）の再認定を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人も含めた誘客促進のため、案内板の多言語化を実施するほか、ジオサイトの保全等を行うとともに、トレイルコースの設定・整備 ・ ジオパークエリアにおける機運醸成にむけた清掃活動やフィールドワークを実施 <p>③ 地域文化・自然環境の保全と発信を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「世界遺産」登録を目指す天橋立の松並木保全や海岸清掃、阿蘇海のカキ殻回収等住民やボランティアと連携した環境改善活動を推進（延べ 6,000 人） ・ 丹後地域で認定されている日本遺産構成遺産を市町等と連携しながらその魅力を全国に発信 ・ 上宮津天然スギ保全活動に取り組む地域団体と協働し、保全活用計画の作成と、自然体験ツアーや環境教育のための観察歩道等を整備

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>④ 新たな文化を創造する次世代の人づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none">若手アーティストへの活動の場を提供するとともに地域活性化に繋げるため、アーティスト・イン・レジデンス「京都 Re-Search2018 in 丹後」を実施 <p>地域の活性化を図るため、担い手不足を抱えている地域の祭事等への地域外からの大学生の参画を推進</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。